

Q-追1

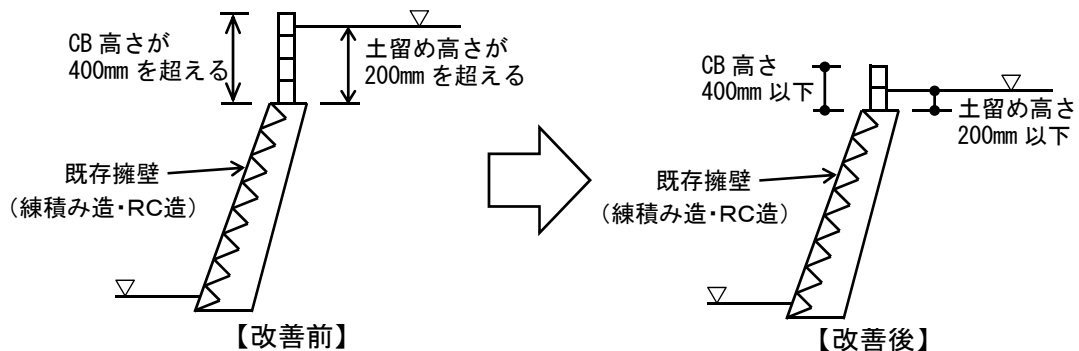
改善を要する既存擁壁等の事例

改正履歴 令和3年3月作成

【共通事項】

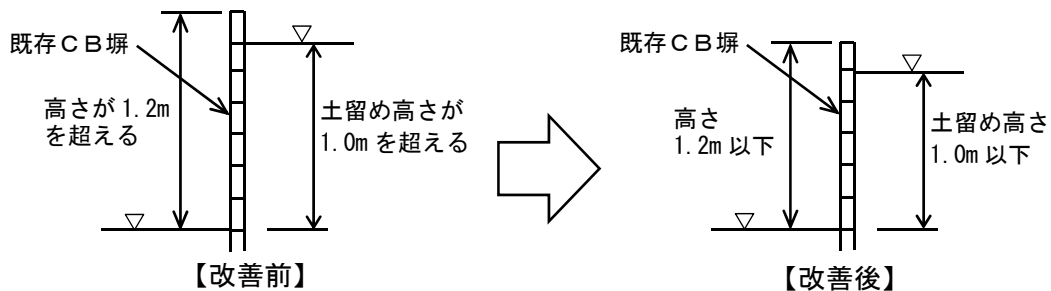
- ・ 既存擁壁の外観調査において、明らかに改善が必要な既存擁壁等の事例を示しています。
- ・ 事例に示す改善のほか、「敷地等の安全確認に関する取り扱い」の外観状況チェックシートにより、改善を要する異常が見られないことを確認する必要があります。
- ・ 擁壁等が隣地所有の場合は、安全が確認できないものとして取り扱います。

(事例1) 既存擁壁にコンクリートブロック (CB) を増積みしている場合



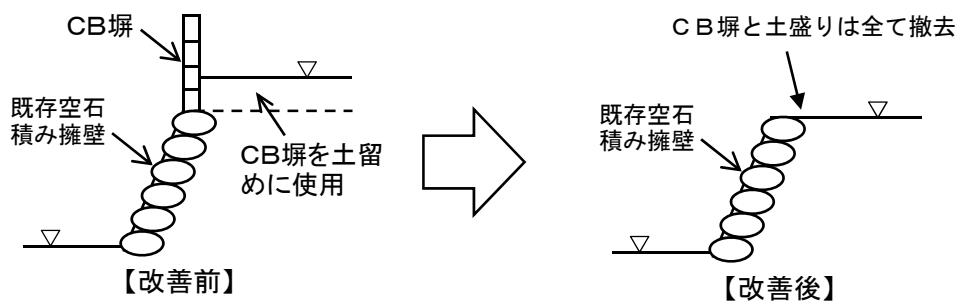
「福岡市確認申請の手引き」単37に基づき、改善が必要です。

(事例2) 既存コンクリートブロック塀を土留めに使用している場合



「福岡市確認申請の手引き」単37に基づき、改善が必要です。

(事例3) 空石積み擁壁上にCB塀 (土留めに使用しているものを含む) がある場合



- ・ 空石積み擁壁は、裏込めコンクリートがないため一体性に乏しく、機能上問題がある擁壁です。そのため継続使用する場合は上の図に示す改善のほか、外観調査に基づく補修や部分撤去、上部地盤の良好な地表面排水への配慮、当該擁壁に構造上不利な影響を与えない建築物の計画など、練積み造擁壁など一般的な擁壁と比較して、より慎重な対応が必要です。
- ・ 二段 (多段) 擁壁、増積み擁壁、張出し床版を有する擁壁なども同様に機能上問題がある擁壁として取り扱います。